

活動レポート

道東技術士会

文責：道東技術士会幹事 上野博司

第 65 回総会・講演会を開催

はじめに

道東技術士会では例年、5月または6月に釧路、12月に帯広で総会を開催しています。

今回の活動レポートは、5月に開催した第65回総会と、講演会について報告いたします。

1. 第65回総会

日 時：平成 24 年 5 月 11 日 午後 6 時

場 所：釧路プリンスホテル

出席者：33 名(技術士 28 名、技術士補 5 名)

平成 24 年度第 1 回総会を釧路において開催しました。

冒頭、工藤代表幹事より、道東技術士会の活動状況について報告がありました。

また、北海道本部定期総会出席時には、道内の 5 支部のうち、道東技術士会の会員数が最多であることから、本部への組織換えが話題になったとの報告もありました。

続いて、上野事務局長より平成 23 年度の収支決算報告と平成 24 年度予算報告があり、市田会計監事より収入、支出とも適切な運用であったとの監査報告があり、出席者の拍手により承認されました。

2. 講演会

総会に先立ち、CPD（継続教育）として講演会を行いました。

演題 1：技術者の倫理について

講 師：日本技術士会北海道本部倫理研究会
幹事長 今井 淳一 氏

概 要：

雪印の食中毒事件やスペースシャトルの爆発事故など、実際に発生した事故を引用して、技術者の倫

理について解説していただきました。



今井講師

演題 2：事例研究～事例で示すモラル問題解決～

講 師：日本技術士会北海道本部倫理研究会
幹事 佐々木 裕之 氏

概 要：

火災報知器製造会社に勤務する技術者を例として、個人尊重主義と会社の功利主義に板挟みとなる技術者の苦悩とモラルから、技術者倫理について解説していただきました。



佐々木講師

演題 3：道東地域におけるこれからの暮らしとエネルギー

講 師：釧路工業高等専門学校機械工学科
教授 川村 淳浩 氏

概要：

近年話題となっている、再生可能エネルギーや化石燃料など、エネルギー資源について、研究事例を紹介しながら、道東地域における今後の方向性について講演いただきました。

1) エネルギーについて

エネルギーを取り出すにはエネルギーが必要であり、エネルギー収支比(EROI)に注目する必要がある。

化石燃料と原子力は、運転用燃料を加味するとEROIがマイナスとなるが、再生可能エネルギーは概ねプラスとなる。

2) 道東地域について

農林水産業や家庭でのエネルギー消費量が多く、液体燃料の依存割合が大きいことから、CO₂排出割合が多い。

3) 研究事例の紹介

講師がこれまでに行った、以下の研究事例について紹介していただきました。

- ①北方型住宅向け再生可能エネルギー活用システムの開発
- ②バイオマス固形燃料の燃焼研究
- ③可搬型ガスエンジン発電機へのバイオマス燃料適用
- ④バイオマス高度利用へのシミュレーション適用研究



川村講師

4) まとめ

地域の再整備として、省エネ集合住宅やデータセンターの建設などによる雇用創出とバイオマスなど高効率エネルギー利用が必要である。

地域環境保全では、北海道の自然、景観を利用した観光産業の隆盛とアクセス整備による高効率エネルギー利用が重要である。

演題 4：技術士を巡る最近の動向

講師：日本技術士会北海道本部

副本部長 大島 俊之 氏

概要：

平成 23 年度技術士試験結果より、二次試験の合格者数が減少傾向にあり、北海道本部の会員数も 1,710 名(会友を含む)で若干ではあるが減少傾向となっている。

会の発展には、会員数の増加が必要であり、大きく減少している一次試験の受験者、合格者数をどのように増加させるかが緊急の課題である。



大島講師

3. 懇親会

講演会に続き懇親会を行い、皆さんがそれぞれ近況を語り合うなど、和やかに歓談しました。

懇親会では、平成 23 年度 2 次試験に合格され、晴れて技術士となられた 2 名の方に自己紹介をお願いしました。

平成 23 年度 2 次試験合格者

笠井 毅 (エスエスコンサル(株))

川尻 洋志(太平洋総合コンサルタント(株))

以上、敬称略

おわりに

当会では今後とも、地域で活躍されている研究者や専門家をお招きして、講演会や現場見学会などを開催していきたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願いします。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご活躍をお祈りし、道東技術士会の報告とさせていただきます。